

平成 31 年 3 月 1 日

研究テーマ：ハッカソンを中心とした人材発掘とアイデア創出

研究期間：平成 30 年 7 月 17 日～平成 31 年 3 月 1 日

研究概要：

ハッカソンを中心として IT 技術者が会社等の垣根なく連携することで、新技術の利用促進、技術力の底上げ、新しい技術活用のアイデアを創出することを目的とする。ハッカソン終了後においても、継続的にアイデアの試作開発、検証、実証を続けることで来年度以降につなげることができるテーマの発掘を行っていく。

研究会員：

特定非営利活動法人 HMCN 理事 安藤 光昭

特定非営利活動法人 HMCN 理事 元木 昭宏

株式会社システムフレンド 東 有明

広島工業大学 松本 慎平

研究成果の概要：

平成 30 年 9 月 29 日、30 日に開催したレッドハッカソンは、昨年と比べて大学生を中心とする若手人材を参加者として取り込むことに成功した。また、東京で開催された MashupAwards に優勝チームの大学生 2 名を派遣した。

その後も、10 月、2 月と継続的にイベントを開催する事でアイデア創出につながる活動ができたと考えている。一方で、検証、実証フェーズについては当初想定した通りの成果につながる事が出来ず、次年度以降の改善ポイントの検討を行った。平成 31 年度以後も、継続して研究会を開催する計画をしている。

1. 研究会開始当初の背景

広島県の IT 業界は、従事者約 9,000 人と規模は小さくないものの IT 者間の取引比率が高く、東京など大都市からのいわゆる下請業務に従事しているケースが多いのが実情である。下請業務では、新技術に主体的に取り組む機会が少なく、新たな価値を創造するためのモチベーションも低下しやすい。また、優秀な学生も、この状況を嫌って、東京などに就職してしまうケースが多い。

NPO 法人 HMCN ではこの課題を解消するために 2015 年の発足以来新技術を活用するためのオープンワークショップや、ハッカソンの開催を通して、新技術を普及・発展させる場づくりを行ってきた。

特に、今年度 4 回目の開催となるレッドハッカソンは、国内最大規模の技術コンテンツである MashupAwards や、広島県と連携する形で、毎年新しいアイデアを創出してきた。一方で、ハッカソンでのアイデアは一部を除いて継続的な発展につなげることができなかったという反省がある。

今年度、IT 融合フォーラムの研究テーマとして活動することで、それぞれのアイデアをより継続的に発展させていきたいと考え、当

研究会を発足した。

2. 研究会の目的

ハッカソンを中心として IT 技術者が会社等の垣根なく連携することで、新技術の利用促進、技術力の底上げ、新しい技術活用のアイデア創出を可能とする。また、ハッカソン開催に先立って新技術をテーマとしたオープンなワークショップを開催することでハッカソンでのアイデアの底上げに取り組む。ワークショップ、ハッカソンにおいては、スタートアップ企業の技術者や、大学研究者を招聘することで新技術を広く活用するための活動・研究を行う。

さらに、ハッカソン終了後においても、継続的にアイデアの試作開発、検証、実証を続けることで来年度以降につなげることができるテーマの発掘を行っていく。

3. 研究会の方法

研究会のメンバーは、レッドハッカソンを運営してきた NPO 法人 HMCN が中心となり構成する。その他、広島工業大学をはじめとした大学と連携することで、将来の IT 人材を新技術に触れさせることを目的とする。

研究会は月1回程度開催し、継続的に運営していくとともに、関連して新技術に関するワークショップを2回開催する計画であった。ワークショップは、会員以外にも広く募集を募り、オープンなアイデア創出に繋げる。同様に9月に開催するハッカソンでも、スタートアップ企業などから専門家を招聘し、学生や企業から広く参加者を募ることで、より魅力のあるアイデア創出を図る。

4. 研究成果

9月29日、30日にレッドハッカソンひろしま2018を開催し、参加者は全24名、うち学生の参加が11名であった。特に学生の参加者数は、2017年比で180%と大幅に増加しており、研究会での検討の成果であると考えている。

特に、優勝チームの大学生2名を東京で開催されたMashupAwards2018に派遣できたことは大きな成果であると考えている。この学生は、1月に開催されたCamps Meetupでの成果報告でも、非常に刺激を受けた事を発表しており、その後も当研究会またはHMCNが主催する技術イベントに積極的に参加するようになってきている。

他のハッカソン参加者も同様の傾向にあり、これまで社会人の比率が高かった広島のITイベントに、徐々に学生の参加を増やすことにつながられていると考える。

技術者にフォーカスしたイベントである、レッドハッカソン～MashupAwardsとは異なり、10月に開催したスタートアップウィークエンド広島は、事業化を目標に置いたイベントである。当研究会では、ゴールの異なる2つのハッカソンあるいはそれに類するイベントを開催する事で、それぞれから成果を得る事を念頭とした。

スタートアップウィークエンド広島についても、広島では初開催ながら多くの参加者から事業アイデアが出た。優勝アイデアのプレミアムぬか床や、特別賞となったしまなみ海道を活かした連合アイデアなど、地域性を発揮した内容となった。

その後、レッドハッカソン参加者に関しては12月、1月とMashupAwardsと連携したフォローアップを開催し、2月に技術的な深掘りを行うワークショップを開催した。当研究会の活動ではないが、2月2日にHMCNが主体となって開催したものづくりイベントである、NT広島にもレッドハッカソンの関係者が多く参加し、従来のNT参加者と交流する事で、技術を楽しむ事ができる人材交流の土壌ができた事も大きな成果と考える。

技術的を楽しみながらアイデアを創出できる人材の発掘という点で大きな成果を出す事ができたレッドハッカソンだが、一方で当初想定していた、事業化に向けた検討という点では、次年度に向けて改善が必要な点が残った。

ハッカソンで創出されるアイデアは、技術視点のものであるため、単純に事業化という目的を繋げてしまうとプロダクトアウトの発想になってしまいがちである。この点について検討会では具体的な結論を得る事ができなかった。ハッカソンやイベントの講師は技術提供企業の広告費で参加してもらえることが多いため、場づくりのための費用や事業化支援の専門家招聘に予算をかける計画として、今年度深掘りができなかったアイデアについて、継続してフォローしていく予定である。

5. 主な発表等

[イベント開催]

9月29日、30日

レッドハッカソンひろしま開催

10月26日～28日

スタートアップウィークエンド広島開催

12月1日～2日

MashupAwards2018へ学生2名を派遣

1月24日

Camps Meetupでの学生による発表

2月1日

深掘ワークショップ開催

[報告イベント]

1月24日 Camps ミートアップ

<https://www.camps-hiroshima.jp/blog/?p=1099>

[ホームページ等]

9月29日、30日イベント報告等

<https://togetter.com/li/1271994>

<https://hmcn.connpass.com/event/96835/>

<https://www.facebook.com/HiroshimaMotionControlNetwork/>

10月26～28日イベント報告

<https://nposw.org/5920-2/>

12月1日～2日 MashupAwards2018

<https://togetter.com/li/1293917>